

平成25年度第1回花巻市社会教育委員会議事録

平成25年6月28日（金）

出席委員（16名）

石橋恕篤委員、佐藤康雄委員、市川浜委員、伊藤晴二委員、小原昭男委員、尾美裕功委員、菊池敦子委員、紺野佳子委員、佐々木悦子委員、佐々木繁夫委員、佐藤建委員、高橋要委員、高橋カヨ子委員、千葉恵子委員、中嶋真理委員、門馬優子委員

欠席委員（4名）

佐藤彰博委員、千葉緑委員、福盛田弘委員、細川泰史委員

説明のために出席した者

菊池保守まちづくり部長、永田祐二地域づくり課長、久保田泰輝生涯学習課長、藤田哲司スポーツ振興課長、福岡信三文化会館長、藤原宏康花巻図書館長、牛崎俊哉宮沢賢治記念館副館長、嶽間沢茂花巻新渡戸記念館長、平野信孝萬鉄五郎記念美術館副館長、小林忠久市民協働企画課長、越後晃一国際交流室長、横手勝美小中学校課主幹兼課長補佐、小田中清子就学養育課長、多田広美文化財課長補佐

○会議に先立ち、菊池保守まちづくり部長から委嘱状を交付

午後1時30分 開 会

1 開 会

2 あいさつ 菊池保守まちづくり部長

3 議長あいさつ 石橋恕篤議長

4 議 題

○石橋恕篤議長 議事に入る前に委員の皆さんにお願いがあります。記録の都合上、マイクを使用させていただきようお願いします。また、これも記録の問題ですが、前の方の発言が終了してから、次の発言をお願いします。それでは、議事に入ります。花巻市生涯学習振興計画の進捗状況について、説明をお願いいたします。

○久保田泰輝生涯学習課長 花巻市生涯学習振興計画の進捗状況について説明

○石橋恕篤議長 ご質問のある方は、手を挙げて発言いただきたいと思います。佐藤康雄委員

○佐藤康雄委員 45番特色ある体育施設の延べ利用者数いろいろあるようですがお伺いします。身近なスキー場として親しまれているスキー場、土日老若男女問わず多勢の方々に利用されて結構なことと思います。ただナイターを休んでいる他、今シーズンは第3リフトも休止しております。平日の利用者が少ないような感じがします。このままではスキー場存続云々と話している人もおりました。お伺いしますが、基準年度平成19年度の利用者数、それからスキー場運営のために持ち出した一般財源はいくらぐらいか。平成24年度開催の利用人数、それから平成24年度一般財源の持ち出しがどのぐらいか。もう1つナイター、第3リフトを休止した理由、その効果はどうだったのか。また、今年最後の開業期間が1週間から10日短くした理由、その効果はどうだったか教えていただきたい。今後とも慕われるスキー場として運営していただきたいという前提でお話しているわけですが、まず経営の実態を知りたいと思い発言させていただきました。

○石橋恕篤議長 今の質問ですが多岐にわたっているわけですが、これについて。

○藤田哲司スポーツ振興課長 鉛温泉スキー場についてのご質問と理解させていただきます。利用者の状況ですが平成19年度末18,000人、平成24年度16,300人若干減っている状況です。リフト収入と実際の経費の差額と思いますが、比較ならないのでリフト収入でお答えします。平成19年度約1,600万円、平成24年度1,500万円これについては当然利用者とは比例して若干落ちておりますが、ここから説明になります。第3リフト、ナイターを休止し後半はスキー場最後の部分10日程後ろを詰めて終わっておりますが、これはスキー場として現在持ち出し赤字部分実際は非常にあるわけでございまして、休止し電気料、リフト経費等相当の削減であります。ちなみに平成24年度ナイターの休止、リフト1本後半繰上げによりまして、コストを詰めても1,200万円以上の赤字が出ておりますので、市民スキー場として考えていくのであれば当然市の負担も考えながら、これからまた経営を続けてまいりたく思いますが如何せん、赤字の幅が多くなって経営を続けていくことについてのご理解、それについてもいろいろご意見あることですが、今年もスキー協会との今シーズンの協議を進めてまいりますのでこの形態のままスキー場は維持していきたいと思っております。ご理解をいただきたいと思っております。

○菊池保守まちづくり部長 補足ですが、ナイターと第3リフトの休止ですが福島原発の事故に伴いまして、電力会社から節電の要請がありました。平成23年度からナイター、第3リフトを止めた1つ目の理由です。2つ目としての理由ですが、全体の利用状況をみるとナイター、第3リフトの利用が少なかった。あそこのゲレンデというのは、第2リフトで上がって行くとちょっとスキーで歩いて行くと第3ゲレンデに行くと滑れるという状況ですので、チャンピオンコースとは言っていますが何とか滑れますので経費との折り合いもありまして第3リフトは休止、今年平成24年度は営業期間を縮めたのは、春になって3月10日過ぎますと雪質が悪くなる、それから子ども達の利用も少なくなるその割にはお金もかかるということで3月10日で切り上げました。平成23年度今年も延ばせと言って延ばしたら意外と利用者が少なくて、たまたま24年度は雪が多い年だったのでもったいないという声は頂戴いたしましたが、費用との兼ね合いもあり、営業期間を縮めたということです。25年度に向かっては、市民のスキー場という性格を全面にだして低料金の格好で遊べるようなことを併せて今検討中です。いずれ来月中には25年度の方針を示しながらアピールさせていただきます。

○石橋恕篤議長 ありがとうございます。その他にご意見。佐藤康雄委員

○佐藤康雄委員 大変ご丁寧な答弁をいただきましたありがとうございます。実は入込み客という利用者はもっと減っているのではないかと思いましたが1点と先程赤字という言葉を使いました。これもっと持ち出しているのではと思ったからお伺いしたのです。安心しました。ありがとうございました。

○石橋恕篤議長 ありがとうございます。その他にご意見。紺野委員

○紺野佳子委員 平成24年度第2回花巻市社会教育委員会議の時に平成24年度実施状況について説明いただいた。1年間生涯学習を進めてどんなことが成果で、どんなことが課題なのか実施状況の数字だけでは分からないから知りたい。とくに課題などについて知りたいと話したら、そういうことは押さえてあるので次回にはお話ししたいということでした。今日は聞く機会がございませうでしょうか。数だけでは分からないということで。

○石橋恕篤議長 部長さんよろしいでしょうか。

○菊池保守まちづくり部長 基本的には生涯学習は単なる学びからもう一歩進んで社会、地域と関わっていただき行動していただくという、学んだことを生かすことが大きな課題だと思います。地域づくりに生かしていただけるという視点で課題として捉えました。25年度は生涯学習講座、総講座数の3割を目標に地域づくり活動に関わっていただくことを念頭に置いた講座に取り組んでいくという方針で進めているところであります。

○石橋恕篤議長 紺野委員いかがでしょうか。

○紺野佳子委員 是非地域づくりの方に生かすということが、学んだことになっていきますのでお願いします。実は昨年総合計画策定の作業に1年間携わってきたのです。その時花巻市の人づくりの面についてどういうことが弱いか、花巻はどういうことが人づくりで強いかなんかということワークシート

で毎回書かなければならないのだが私は知らないことが多かった。できるだけ資料に目を通していたがなかなか知らなかった。私が考えている以上のことを市ではいろいろなさっているんだと改めて知る機会になった訳ですが、それについてどうしても課題がストンと来ないところがありまして、意見のところでも述べさせていただきたいと思ひまして今のように質問しました。

○石橋恕篤議長 はい、ありがとうございました。他にご意見ある方。佐藤委員

○佐藤建委員 今説明を受けた中の37番振興センター及び自治公民館との連携強化、これだけでは分からないのでご説明をお願いします。

○久保田泰輝生涯学習課長 37番について表現になってなく分かりにくいかと思いますが、生涯学習の進行という上でまなび学園に限らず各振興センターの説明ということですが、若しくは小さい単位での自治公民館こういった場所での学びというのも非常に重要ですので、そういった部分でも先程部長からお話ありましておろ学ぶということから地域づくりに少しずつ展開していく、その場として振興センターや自治公民館そちらとの連携を少しずつ図っていくという内容でございます。

○石橋恕篤議長 よろしいでしょうか。

○佐藤建委員 新任で前の経緯一切分からないわけで資料を見て判断するしかないのですが、今ご説明いただいた全体の進捗状況これはどちらかという市の直轄事業といいますか、振興センターを中心にやっているもっと極めの細かい生涯学習事業というのが見えてこない。この中では数の上でもその辺で直轄事業は良く分かるんですが、それ以外のもっと細かい部分の振興センター単位あるいは自治公民館単位でやっている生涯学習事業というもう少し数字が見えるようにしていただければありがたいです。要望です。以上です。

○石橋恕篤議長 関連質問ですか。

○小原昭男委員 自治公民館の役員をやっていますが、旧花巻市の体制でなかなか1市3町ひとつにまとまらないというのが現状、組織そのものの課題かと思ったりしますが、ただその振興センターとのつながり云々言われましたが、そういうことになれば各振興センター単位であればその単位の公民館連絡協議会というのが必要ですけれども、現状はないと聞いております。実際働きかけてもなかなか話を聞いてくれないというのが現状です。なかなかまとまらないので、見切り発車しましょうという意見も出てきている。もう少しとなりの町の公民館関係者の方に働きかけて、できれば一緒に1市3町ひとつのくりにできるように我々も努力しているわけですが、合併できれば良いと連絡協議会の時に議論をしています。市からも働きかけてもらいたい、要望です。

○石橋恕篤議長 小原委員から要望がありましたので、ひとつよろしくをお願いします。

○佐々木繁夫委員 4ページ40番、41番についてです。40番食事や運動に気をつけている市民の割合とっても良い資料です。健康寿命について過日、内閣府から日本の地域別将来推計人口というのが出されています。それは都道府県別自治体別で普通65歳以上の皆さんが14%未満は高齢化、21%未満は高齢社会、それ以上は超高齢社会と言われるわけですが、2020年は花巻は34.3%です。これは県内の平均より高い、あと少子化率約11%ということで県よりこれも高いわけです。食事や運動に気をつけている市民の割合ではなく、もっと強い方策が必要ではないかということです。言いたいことは何かというと生涯学習事業振興計画とそして市の財源がいくらかでも減ればこれにこしたことはない。ただ健康寿命を延ばすということは、介護費用、医療費の削減にもなるのではないかと。花巻の場合1人あたりの医療費は27万円です。全国から見ると47都道府県のうち29位だったはずですが、ですから健康寿命を生かすため保健センターではいろいろやっていますが、もっと大きく取り上げて推進してもいいのではないかと、いろいろな統計を見ますと気をつける市民は大体どこの自治体も同じです。気をつけている人は非常に多いです。気にしているだけでは現実はいろんな社会変化対応で難しい部分はありますが、もう少し強く総合的に全面に出してもいいのではないかと。例えば保健センターなどでいろいろ事業を展開しておりますが、もっと幹の太い政策を展開していてもいいのではないかと。介護費用、医療費のためにも健康長寿を増やす政策を考えてもいいのではないかと。参考までに、2040年は65歳以上は38.7%、花巻市の場合は40%という状況です。以上です。

○石橋恕篤議長 これは要望でありますか。要望が出ましたのでよろしくお願ひいたします。委員の皆様にはまだまだご意見がありましようが、議事の進行上次に移らせていただきます。平成25年度花巻市の生涯学習事業計画についてご説明お願ひします。

○久保田泰輝生涯学習課長 平成25年度花巻市の生涯学習事業計画について説明

○石橋恕篤議長 今ご説明いただきましたが、これについて何かご質問のある方ございせんか。

○紺野佳子委員 最初の生涯学習の基礎づくりというところなんですが、平成25年度の事業計画の中でこども課、教育企画課、就学養育課、生涯学習課というふうに課があつてそれぞれの事業が進められるわけですが、先程の説明では補助機関だとお話があつたのですが、補助機関ということがよく分からない。全体の総括する生涯学習を一つにまとめるところ機関があるのかということ一つと、芸術、文化のところでは花巻市内でいろいろな宮沢賢治記念館をはじめ、文化施設がありますが、高村光太郎記念館が市の物になつたと聞いたのですが、経緯がわからないので市民としてはうれしいことですが驚きましたのでお聞きしたい。以上です。

○石橋恕篤議長 質問が2点出ましたので、そのことについてのご説明をお願ひします。

○久保田泰輝生涯学習課長 資料の本日お配りした次第の綴りの中の一番最後のページに、生涯学習の基本目標から施策の方向、平成25年度の経営方針ということで生涯学習の所管するまちづくり部としての25年度の方向性を表すものですし、それを受けましてまちづくり部の中で生涯学習をメインに担当している生涯学習課、スポーツ振興課それぞれの25年度の目標等を記載しています。こういった中で関連部局組織として教育委員会にまたがる部分、健康こども部に含まれる部分、いろいろありますけれどもそういった部分は連携して事務執行しています。ある分野は教育委員会、ある分野は教育委員会からまちづくり部への補助執行というふうに制度上はいろいろ分かれています。連携を取って事務執行させております。

○菊池保守まちづくり部長 補足させて下さい。お手元の花巻市生涯学習振興計画をお開き下さい。4ページに施策の方向生涯学習の基礎づくり基本施策として家庭教育の充実、学校教育の充実、学校・家庭・地域社会の連携の推進と基本施策がございます。本日25年度の事業計画については基本施策にそつて一応書かせていただいたと、このようにご理解いただきたいと存じます。学校教育についてはまちづくり部の所管ではなく教育委員会の所管専権事項でございます。そうはいつでもお互いに連携して生涯学習の基本振興計画が作成されている。教育委員会あるいは市長部局が連携してこれを作つて推進しているとご理解いただきたいと存じます。高村光太郎の関係でございます。経緯だけお話ししますが、これまでは観光サイドの施設として商工観光部の方で所管しておりました。高村光太郎記念館は財団法人高村会の所有でございますので、そこで高村会の方から市の施設としてやっていただけないかとご要望を受けて、この5月15日から新しく教育委員会所管の歴史民俗資料館これを高村光太郎記念館としてリニューアルさせていただきました。そして教育委員会から花巻市独自の条例で市長部局の方で所管して、たまたま今回は去年と同じスタイルを作つたもので新しい部分が抜け落ちたと一寸お粗末でございましたがお詫びしたいと存じます。そういう経緯がございまして、まちづくり部の賢治まちづくり課の方で所管をさせていただいております。次回からしっかりと記述させていただきます。

○石橋恕篤議長 紺野委員さんご納得いただけましたか。他にご質問ございせんか。

○高橋要委員 先程の件、加えて基本施策の家庭教育の充実支援とは具体的にどこを指しているのかお示しいただければ。

○石橋恕篤議長 今の質問、具体的に示してほしいということです。

○小田中清子就学養育課長 家庭教育ということのお尋ねでございますけれども、就学養育課でございまして就学養育課では就学前の子ども達0才から小学校に上がる前の年齢のお子さん、その保護者の方々に向けての子育ての部分につきまして、子どもに向けての保育教育の充実の部分もありますが同時に家庭教育といひますか、子どもにとってはその環境切つても切れない状況にありますので、その部分も一緒に家庭教育として支援しながら一緒に子育てを応援していくということでございます。具体としましては主な事業計画のところにもいろいろあげさせていただいております。課題を共有してというところで行政としてどういうことが出来るのかを探るための就学前教育振

興会議を開催いたしまして、たくさんのご意見をいただいたり保護者向けといたしまして「ニコニコガイド」ということで育ちの部分大切な部分です、家庭にお伝えしたりという内容に取り組んでいるところがございます。

○石橋恕篤議長 よろしゅうございますか。

○高橋要委員 それを踏まえて要望と意見ですが、就学前教育というのは確かに見て分るとおり家庭教育の充実への支援としてなされていると思うのですが、それ以降の義務教育小学校、中学校の家庭教育というよりは親のモラル的部分が最近欠けているのではないかと。そういった部分を中心に盛り込んでいただければという要望と意見です。よろしくお願ひします。

○石橋恕篤議長 要望と意見が出されましたので、よろしくお願ひいたします。

○佐藤建委員 今回の質問に関連するのですが、私は教育振興推進協議会の会長です。教育振興運動とは子どもを中心として学校、保護者、地域、行政5者でうまい方向を見つけてやっていこうという運動なのですが、学校に入ってしまうと当然学校教育なのですが、学校以外の家庭教育の部分親のモラルという分野のお話です。学校教育では踏み込めないある意味では、指針は出せても行政でもそういった意味で教育振興運動は家庭に入っていけるのでは。それで私達の団体では過去3回アンケート調査をやりまして結果が出ております。親と子どもとの約束事、別の言葉で親が子をしつけるそういったものが出来ているお子さんは、非常に優秀だし成績も良いし本もたくさん読んでいる、結果ははっきりと出ています。私達団体では今年できれば今年度中に親御さん向けのマニュアルを作りたい花巻市内の小学生の親御さん全部に配りたいと考えております。そういった意味での親御さんのモラル云々というのは学校教育、学校からはなかなか踏み込み難い、ましてや教育委員会は踏み込んではいけない、多少指針は出せますがそれで終り、やるやらないは向こうの勝手そういう感じになりますので、そういう意味では教育振興運動の方が踏み込んでいく可能性があると考えております。今は社会教育の中の生涯学習の家庭教育充実への支援ということですけど、就学前の時は保育園、幼稚園ですので比較的入り込んでいきやすいとは思ひます。学校教育はなかなかその辺も難しいのではないかと。補足です。

○石橋恕篤議長 他に。伊藤晴二委員

○伊藤晴二委員 7番創造性豊かな芸術文化の振興の中の3の文化財の保護と活用についてお尋ねしますが、かなりそれぞれの地域では大変価値のある優れた文化財がまだまだ眠っている。地域の宝、村の宝ごろごろあります。今年度7件調査をすることになってはいますが、昨年までの進捗状況を見ますと平成19年度文化財指定279件、昨年280件つまり殆ど変わらないとここ5年間目標が2年後295件ですから15件あるわけですが、5年間0に近い状況で、あと2年間で15件（昨年7件）専門的な知識がないと出来ないわけですが。私もある地域で文化財の元審議員を務めた方を訪ねたとき、ここにも指定文化財がある、ここにもある、まだまだある。実態はそういう状況になっていない。私はそういうのをどんどん掘り起こして地域に還元をして子ども達にも還元していくと地域の誇りを持たせる意味では非常に大事ではないかと。具体的にはどういう方向で考えているのか聞きたい。

○石橋恕篤議長 伊藤委員からの質問でございますが、これについていかがでございますか。

○多田広美文化財課長補佐 確かにいろいろ貴重なものはあるとは思ひますが、文化財保護審議会先程も話されました審議員さんの方で専門的知識は必要ですけど、いろいろ文化財を少しずつ調査しながら、（一回にはたくさん出来ない）その中で貴重で指定に値する基準と言ひますか内部では定めてありますので、文化財にあたるものについては調査いただきながら市の方でも判断というか審議会にかけて指定していくということ。平成25年4月残念にも好地のしだれ赤松天然記念物が松くい虫で枯れて指定解除したということがありまして、単純には増えていかないという実質増えても増えない、できるだけ守っていくということ。委員さんの方からあればいろいろ検討していきたい。

○石橋恕篤議長 伊藤委員よろしいでしょうか。

○伊藤晴二委員 一言多分それを調査するための必要なスタッフなり費用が掛かると思ひますけれども、いずれこのままでは大変な状況になる。私の地区で文書類が集まって来ている。古文書の

読めるスタッフがいないと簡単にはできない文化財あるいは地域で眠っている文書を含めた形で吸収して、何らかの形で手を加えて一般の人でも出来るようなシステムこれが弱すぎるので率直に思うので何とか善処してほしい。大変淋しくなる。文化財関係者が非常に少ない、専門的な方が若い人はほとんどいない状況ですので、長期の見通しを含めた専門的なスタッフの養成に是非取り組んでほしい。

○石橋恕篤議長 今の要望でございます。この点一つよろしく申し上げます。

○紺野佳子委員 簡単な質問ですが。

○石橋恕篤議長 次がありますので要点を一つ簡単に。

○紺野佳子委員 就学養育課のところの事業の中で花巻市内の園長、小学校長の合同会議大変良いと思います。目指す子ども像を共有することで保育園、幼稚園、小学校の連携と思いますが、保育園の場合、法人立の保育園はこども課の管轄、公立の場合は教育委員会ということになっている。こういう会議には法人立の園長も一緒なのでしょう。

○小田中清子就学養育課長 合同会議の所見ですか、紺野委員さんおっしゃるとおりすべての花巻市内の保育園ですので、公立も法人立も認可外もすべて入っています。すべての小学校長の方と80名ほどですが会議をもっております。県下ではまずない会議ですので非常に成果が上がっていると自負している。

○石橋恕篤議長 紺野委員よろしいですか。時間の都合上3番に移らせていただきます。

○紺野佳子委員 要望、意見は取り上げないのですか。

○石橋恕篤議長 一応、閉めたつもりでしたが要望があるのですか。

○紺野佳子委員 今のことと高村光太郎記念館などの芸術、文化の施設のことについて是非お話ししたい。時間を取っていただいて申し訳ない。花巻市内で合同会議を開くということは県下でもたいへん先進的なことだということは、この間保育園の監査の時に県の監査の方がいらして花巻ではいち早く取り組みましたと聞きました。法人立の保育園であります。保育園からの保育要録の提出を学校側に出すことが、今までは通知だったことが保育指針が出てから告示になった。必ず出すということです。保育園側としては出すわけでその時添書を付けずに出したということで指導を受けた。きちっと添書を付けて出し、学校側では受け取ったということを出す。それだけ要録が大事に考えられているということです。非常にいいこと。しかも花巻の場合は教育委員会に就学養育課といって保育指針について詳しい指導主事を設けたことが最初だったので、設置され期待していた。保育要録の扱いについて学校でも活用していただければ、子どもの学校へのスムーズな移行ができるのではないかと。保育園や幼稚園から上がる保育要録について大切に扱ってほしい。会議も大事だが大事なものを渡す仕組みになっているので期待している。こども課、教育委員会、生涯学習課取り上げているので花巻の子どもにとっていいのではないかと。もう一つですが、創造性豊かな芸術文化の振興ですが、ここでは宮沢賢治記念館と宮沢賢治イーハトーブ館の事業について紹介ありましたが、万鉄五郎記念美術館のことについて、ここの事業のもち方について人づくりのところ、総合計画の話合いを1年通して10回話し合い一応まとめたものと、市の課長クラスと話し合う機会があり、富士大の学生も大変積極的に意見を出して花巻のために若い方が真剣に考えてくれてありがたかったです。その時に美術館とか記念館とか建物の中にだけいるのではなく、職員が持っているいろんな知識とかを市民のために生かしてくださることが必要ではないかと考える。昨日、万鉄五郎記念美術館の事業がありまして紹介します。盛岡で行われている伊藤若冲の展示会にバスで行って来たのですが、行く時に館長とか職員の方々が一緒に付いてくれまして親しく、詳しく話しをしてくださり美術館で持っている知識とか一般市民のために移動しながら話してくださり、このような美術館のあり方は大変良い。万鉄五郎記念美術館には鉄五郎自身の作品は少ないが、職員の方々の力で素晴らしい展示会を行ったりいろんな美術館とのネットワークもすごく良く、他の美術館と連携を取りながら活動している。市民の中に入って来て行う事業を進めていただければという要望ですので考えていただきたく思います。

○石橋恕篤議長 要望とのこと。時間も迫っていることですので3番の社会教育団体に対する補助金交付について報告をお願いします。

○久保田泰輝生涯学習課長 社会教育団体に対する補助金交付について説明

○石橋恕篤議長 補助金関係についてのご質問ございませんか。

○佐藤建委員 補助金の一覧表で7番はハードに関する部分、それ以外はソフトだと思うのですがソフトだけで見ていきますと体育協会920万円、スポーツ少年団です。それに対して文化系の補助金が少ないと感想です。以上です。

○石橋恕篤議長 感想の懐中ありがとうございます。他にご意見あるいは質問ありませんか。ないものとしたしまして次諮問の方に移りたいと思います。花巻中央図書館基本計画（案）についてのご説明をお願いします。

○久保田泰輝生涯学習課長 花巻中央図書館基本計画（案）について説明

○石橋恕篤議長 説明について委員の皆様の中には聞いておきたい不明な点がありましたら。

○佐々木繁夫委員 質問というか要望です。出かけると必ず図書館に寄るのですが3点だけ。まず一つ目オガールがそうなのですが、せっかくの立派な図書館できるので若い夫婦が子どもを連れて行けるようなそういうコーナーがあったらいい。若い夫婦の子育て支援そんな窓口があったらいい。2つ目補助金を出した団体があるわけですから各種団体の活動が分かる閲覧コーナー、市内にはいろんな団体がありますのでどんな活動しているか拒否する団体はダメですが。3つ目図書館のサポーター、市民によるボランティア、友の会そんな形があれば市民に密着した図書館になるのではないかと。要望です。

○石橋恕篤議長 今の要望と言いますか条件と申しますか。そんなお話です。他に。

○佐藤建委員 今説明を聞いて全くゼロの状態からよくここまで持ってきたと関心しました。1つは自分は10年前に花巻に帰ってきたUターンです。まず帰ってきて図書館に行ってお本を借りて

「同じような本を読む読書会を教えてください。」と聞いたところ、「ない。」と言われた。花巻には読書サークルもない。図書館が中心になって読書会を作り、同じ系列の本を読んでいる人達が集まってもらいお茶会を開くソフトです。今度の中央図書館は機能とハードのことがありましたが、いかに運用するか。運用の仕方をもう少し詰めていただきたい。花巻の文化の一番の拠点になるわけですから図書館をもっと詰めていただきたい。要望の第1点。もう1つ駐車スペースですが、文化会館あそこの駐車スペースは何台ですか。

○石橋恕篤議長 駐車スペースは何台でしょうか。

○福岡信三文化会館長 現在400台

○佐藤建委員 今度は500人規模。今の図書館の駐車台数をみるとそんなに多くないです。学生さんは自転車です。中規模ホールを作るのであれば200台で十分だろう。既存の石鳥谷、大迫、東和のその辺のところデファレンスと関連しますが、それ以外の例えば富士大学、岩手大学、盛岡中央図書館、県立図書館との連携が必要だと思います。花巻だけではなく、そうすれば蔵書数40万冊でも何百万冊になっていくわけです。利用者に利便を図ることが可能になりますからその辺の連携を含めた図書館にしていきたい要望です。

○石橋恕篤議長 今のご要望ございました。他にございませんか。

○紺野佳子委員 読書会のことですが、全くないわけではない。個々にいくつか読書会があると思いますが、私花巻ユネスコ協会をやっていますが、会員又は自由に関心ある方ということで読書会をやっておりましてお茶を飲みながら年間5回行っております。なかなか一般には広まっていないようです。

○佐藤建委員 私が言っているのは図書館が音頭取りした公立図書館が、個々の読書会はたくさんあるかもしれませんが。それはそれです、非公式。公式の読書会を作るべきだと思います。

○石橋恕篤議長 私的なのと図書館区別するとおっしゃられました。他にございませんか。

○菊池敦子委員 学校の図書館は学校の中で非常に大事にしている部分です。国語教育活動の中でも読書推進と非常に大きな役割を持っております。さらに教育振興運動などでも読書運動はひとつの柱として推し進めている。地域の力、学校の力は、読書活動には大きい、決して疎かにできない。学校の蔵書管理というのが大きい学校12学級以上は図書館に司書が配置している。小さい学校はデジタル化も進んでいない。蔵書の管理が気になっていました。大きい立派な市立図書館できまし

たら市の図書館と言えども市の財産の一部である。学校の図書館もデジタル化をしていただいて市の図書館との情報連携できたならば、学校の図書館に1冊しかない本けど中央図書館に行けば5冊ある、次の国語の時間には6冊の本を1冊ずつ渡して読める。学校図書館との相互貸借のデータが図ればやりやすいと思っている。本校は今、国語の校内研究を進めていますが読書活動をやる時、職員が借りに行くわけです。あちこち探して子どもに読ませるために、結構労力を使っていますので一目で画面で分かるように出来れば学校として本当にありがたい図書館になる。読書好きな子どもに育てられると思うと、図書館の完成が待ち遠しいです。ソフトなのかハードなのかわからない話になりましたがお願いできれば大変うれしいです。是非図書館が出来ましたら見学しに遠足にでも連れて行きたいと思っています。

○石橋恕篤議長 学校と中央図書館との連携、私的なことですが大学でも総務館と連携が良く出来ていて資料がすぐ取り寄せできる。同様のことが小中学校、高等学校などでも中央図書館を介して取れるシステム魅力的です。

○中嶋真理委員 市P連の方で出席ですが、西南中学校の中嶋として発言します。どこの図書館に行っても、ヤングアダルトのコーナーを必ず見っていますが、ヤングアダルトという名前が誤解される感じが残り、残念です。ヤングアダルトのジャンルこそ、お父さんやお母さん、教育関係に携わる方々に読んでほしいと思います。家族、社会、友情といったテーマはもちろんですが、外国のヤングアダルトのジャンルは、最近日本でも取り上げられるようになった虐待、同性愛、家族殺し、心の病等、重いテーマにもいち早く取り上げられてきました。それはとても大事なことだと思います。だからこそ、多くの方が足を踏み入れやすい場所にコーナーを設けたり、テーマ別で紹介したりする等の工夫をし、ヤングアダルトのコーナーを充実させてほしいです。もう1点は、先ほども提案されたお茶のコーナー等を設け、ゆったり読書にひたる場所があれば素敵です。窓の外には林が見え、その林は、賢治童話に関する木々が植えてあればいい。そこを親子連れが散歩しながら賢治童話の世界を広げられればいいと思います。場所的には余裕がないかもしれませんが、環境デザイン等もお考えいただきたい。よろしくをお願いします。

○石橋恕篤議長 要望ということです。ご意見いただきました。他にございませんか。

○伊藤晴二委員 先人顕彰ギャラリーの件ですけれども、大変期待しております。どんなものが出来上がるか。花巻の先人という膨大な数の人達がいまして甲乙付けがたい、たくさんの人達がいまして。「宮沢賢治」人に差を付けるわけではありませんが、宮沢賢治に関する本なりに評論がものすごいわけです。例えば花巻に来たガイドの人が宮沢賢治を知りたいと展示ギャラリーだけでは全然物足りない、賢治記念館、イーハトーブ館もありますが調べるなら図書館です。なので賢治ギャラリーにいても良いが、ここのコーナーにはこれだけのものがたくさんあると紹介できるようにする。知りたい人にはこういうコーナーがあればよいと思う。去年から賢治セミナーに出ています。ものすごい学習力が市民の間で高まっていますから殺到するのではないのでしょうか。検討をお願いします。

○石橋恕篤議長 要望でございました。他にございませんか。私からも伺いますがここのタイトル諮問となっていますが、この委員会は答申するのでしょうか。

○久保田泰輝生涯学習課長 はい。

○石橋恕篤議長 そうですか、分かりました。市が当委員会に諮問して、われわれの委員会が答申するということです。図書館整備に向けての要望は何件かいただきましたが、基本計画(案)に対し、他にご意見等ありませんか。なければこの案に対し特に修正等の意見はなしとさせていただきます。皆さんありがとうございました。

5 その他

○阿部太成生涯学習課長補佐 事務局からはありません。

○市川浜委員 今年の成人式に出席して本当にすばらしかった。ここ何年は荒れたとは申しませんが、今年の成人式は式典でした。市当局、実行委員会がご苦労して工夫した興をなしているのか、聞こえてくる声は年によって違う。是非今年のような厳粛な式典、感謝申し上げたい。

○久保田泰輝生涯学習課長 昨年度頑張ったスタッフ、来年の1月に向けてOB、OGが自主的に新たな成人式に向けて何か支援できないか、いい方向に向かっている。いい流れになっている。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

6 閉 会

午後3時45分 閉 会